

ノリ糸状体情報 第2号

令和3年8月24日
福岡県水産海洋技術センター有明海研究所

1. 糸状体の生育状況

8月上旬からこれまでの検鏡結果では、胞子のうの形成割合はほぼ平年並です。

2. 病害・障害

照度不足、高水温などが原因と考えられる生理障害が一部で認められています。培養条件を再確認してください。

3. 今後の管理(熟度調整開始まで)

今後1ヶ月の気温はほぼ平年並と予報が出ており、朝夕は徐々に涼しくなっています。

日中の水温上昇及び朝方の水温低下に注意し、気象情報をよく見て、培養場の水温管理を徹底してください。

水 温：日中は28℃を超えないよう、朝方は25℃を下回らないように、25～28℃を保ってください。

照 度：照度不足は生理障害の原因となります。これまでの照度を維持してください。平面培養は800ルクス、垂下培養は1,500ルクスを目安にしてください。

比 重：現場比重で21～22を目安にしてください。差し水は定期的に行い、蒸発し減少した分だけ水道水を入れてください。

水 換 え：熟度調整開始まで水換えは行わないでください。

栄 養 剤：最後の水換え時に規定量しか入れていない水槽は、規定量を追加して、合計で2倍量にしてください。

福岡県海況情報が「うみえる福岡」としてリニューアル！

HPアドレスは、umiel-fukuoka.jp
会員登録すれば、自分好みの画面に
カスタマイズ可能です！

